

道の駅を中心とした商店街事業 そこに学生が加わる

士別市中心商店街振興組合

【活動の目的】

道の駅「羊のまち 侍・しべつ」は、国道40号沿いの士別市中心街に令和3年5月オープンしました。しかし、国道40号を中心とした士別市中心商店街振興組合は、後継者不足が主な理由に年々組合員も減少しているため、昨年より地元の北海道士別翔雲高等学校と商学連携による活性化を目的にさまざまな活動を行っています。



道の駅「羊のまち 侍・しべつ」

【わたしのたからもの絵コンテストの開催】

士別市内の保育園・幼稚園7か所を対象に、「わたしのたからもの」と題した絵を募集し、コンテストを毎年実施しています。今年は219作品の応募があり、地元の美術教師に審査を依頼し、最優秀作品10点、優秀作品30点が選ばれました。入選作品は、中心商店街振興組合加盟店のショーウィンドウに約1カ月間展示してもらい、商店街へ足を運んでもらうきっかけ作りをしました。実際、商店街にはお孫さんの作品を見に来る方や、保護者、友人など絵をバックに写真撮影する人など、多くの人が商店街を行き交う姿も見られました。



各店に絵の展示を行った様子

入選作品の表彰式は「まちなかにぎわい広場」のイベント会場で行われ、さらに最優秀作品の中から、一般のお客様による投票で1番に選ばれた作品には、「中心商店街振興組合理事長賞」がサプライズで贈られました。

【お買い物ラリーの開催】

絵コンテストと連動し、お買い物ラリーを実施。中心商店街振興組合加盟店で500円以上のお買い物で応募券にスタンプを押印。それを3つ集めると加盟店で利用できる商品券が当たる抽選会に応募ができます。応募券は上述した絵コンテストの投票用紙を兼ねており、投函箱を道の駅「羊のまち 侍・しべつ」に設置したことで、期間中はラリー参加者の来客も多くみられました。

お買い物ラリーの抽選会は「まちなかにぎわい広場」のイベント会場で、絵コンテストの表彰式に続けて行われ、多くの市民が集うなか、会場は大きな盛り上がりを見せていました。



空き店舗を活用した「まちなかにぎわい広場」

【まちなかにぎわい広場の開催】

空き店舗を活用し、市民が集うイベントを開催しようと毎年開かれている「まちなかにぎわい広場」。道の駅と道路を挟んで向かいにある空き店舗を活用することで、士別市中心街の活性化を行っています。会場内ではミニ縁日（ヨーヨーすくい、お菓子すくい）やマジックショーなど、こどもも楽しめるメニューを企画し、道の駅では、野菜の詰め放題や、地元のダンスチームの披露、ふわふわコアラを設置するなど、家族

連れでも楽しめる空間づくりをしました。地元産の野菜詰め放題は毎年すぐ完売するほど人気です。



晴天の下で行われた野菜の詰め放題

【地元高校生との連携】

中心商店街振興組合では、国道沿いに設置している「まちかどベンチ」に塗装し、オリジナルベンチを地元高校生に制作してもらいました。お披露目式では、制作に携わった高校生にベンチを紹介してもらい、観客から大きな拍手が贈られました。市民からは、国道沿いのベンチがカラフルになると、まちなかにも賑やかになった、と大変好評でバスを待つ方や、散歩途中の休憩など市民の皆さんに愛用されています。

また、地元高校生がデザインするクリスマスケーキの応募も同日会場内で実施しました。今年はケーキの化粧箱のデザインも手掛けました。来場者のケーキ抽選の応募総数は78通と沢山の応募がありました。後日、高校生の手による抽選会が開催され、10名の方が当選し、12月24日に道の駅で引換えが行われました。引換え当日は、高校生たちがサンタクロースやトナカイに扮し、会場を盛り上げました。抽選に外れた方にもチャ



生徒がデザインしたベンチ披露の様子

ンスと同じくデザインしたケーキを10個限定で販売され、そちらも当日完売となりました。



ケーキ引換えの様子



オリジナルケーキ

【しべつ年末年始全市連合大売出しの開催】

しべつ年末年始全市連合大売出しは、当組合が事業実施主体となって実行委員会形式で開催しています。今年は士別市内53店舗が参加し、各店舗で買い物した方に宝くじ券を配布。年明けに宝くじ当選者に商品の引換えを行いました。1等は参加店で使用できる商品券5万円分をはじめ、ビートオリゴ糖やジンギスカン、お米など多くの地場産品を用意しました。この宝くじを楽しみにしてくださる市民も多く、年末年始の恒例行事となっています。



当選商品引換えの様子

【最後に】

士別市中心商店街振興組合は、高齢化による廃業や人口減少による後継者不足など課題が多くあります。その状況下においても、「今やれること」「今しかやれないこと」「ここでしかできないこと」など、地元高校生をはじめ、地域住民との連携を図り、多種多様なアイデアを出し合いながら、今後も地域活性化に繋がる活動を行っていきます。